

(平成 30 年 8 月試験研究業務月報)

試験研究課題：アカムツ（ノドグロ）の資源管理手法の開発

研 究

## アカムツ未成魚を保護するための技術開発

当センターでは、底曳網で水揚げされるアカムツ<sup>※1</sup>を持続的に漁獲するための資源管理手法を開発しています。その一環として、市場価値の高い中大型魚を漁獲し、未成熟<sup>※2</sup>で市場価値の低い小型魚(体長 15 cm 未満)を逃がすことができる魚捕部(下図の赤丸)の網目の大きさを検討しています。

8 月上旬に海洋調査船「平安丸」による網目 5 cm の試験を実施した結果、体長 10 cm 以下の個体の保護は 95%以上でしたが、体長 15 cm 前後の保護は 20%に留まり、未成熟魚の確実な保護にはもう少し網目を大きくする必要がありますことが明らかになりました。

今後、異なる網目でも試験を進め、適正な漁獲方法を漁業者に提案します。

※1 アカムツ：「ノドグロ」とも呼ばれる高級魚。水深 100～200 m の海底付近に生息

※2 未成熟：生殖腺が未発達で産卵に参加しない個体



海洋センター